



せたがや区議会だより

No.213

平成20年(2008年)1月1日
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
TEL (5432) 1111代表 FAX (5432) 3030
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

第4回 定例会

障害者福祉施設条例などを可決



せたがや・環境行動DAY 2007「エコサタデー」の様子

新年のごあいさつ

世田谷区議会議長 大場やすのぶ

あけましておめでとうございませう。本年も、区民の皆様にとりまして幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

世田谷区議会は、昨年4月の世田谷区議会議員選挙で52名の議員の皆様が皆様の信託を受け、新たに始動しました。今後も、議会制度改革のための諸課題に取り組み、皆様

の力が施策に十分に反映されるよう全力を尽くしてまいります。

昨年は、区制75周年を迎えるとともに、たまたがわ花火大会が4年ぶりに開催されました。

本年は、新たな区の実施計画がスタートします。教育や子育て環境を初め、各分野の施策の充実を進めてまいります。また、依然として低迷する経済状況により、区民生活がなかなか好転しない中、引き続き地域経済の活性化に取り

組み、安心して暮らせるまちの実現に努めます。

さて、本年4月からは、75歳以上の高齢者を対象にした後期高齢者医療制度がスタートします。今後、医療保険制度が維持され、皆様が地域でいつまでも健康に住み続けられるよう、議会といたしましても、制度の円滑な運営に向けて働きかけてまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から30件の案件が、議員から3件の案件が提出されました。議員提出議案のうち1件を賛成少数で否決し、その他の議案は原案どおり可決しました。

●条例の新設 1件

○障害者福祉施設条例 (全員賛成)

障害者自立支援法に基づく事業を区立の障害者福祉施設で行うために必要な事項を規定。

●条例の改正 21件

○行政財産使用料条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○地区会館条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○区民会館条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○区民センター条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○美術館条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○文化生活情報センター条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○男女共同参画センター条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○区民健康村条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○区民農園条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○敬老会館条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○公園条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○総合運動場条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○千歳温水プール条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

○地域体育館・地区体育室条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

以上14件は、施設使用料の見直しに伴う使用料の改定や利用料金に係る規定の変更など。

○選挙長等の報酬・費用弁償条例 (全員賛成)

更正決定または繰り上げ補充となったときの選挙会を開く場合の選挙長及び選挙立会人の報酬額を規定。

○保育条例

賛成 自民、公明、民主連、政策、無所属
反対 共産、生ネ、社民、無党派、虹

賛成 多数

保育料と延長保育料の改定や保

育料の多子軽減の規定など。

○風景づくり条例 (全員賛成)

景観行政団体への移行に伴う風景づくり計画の策定手続の規定など。

○地区計画区域内の建築物制限条例 (全員賛成)

世田谷二丁目千種住宅地区地区整備計画区域の追加。

○区営住宅管理条例 (全員賛成)

学校教育法の改正によるもの。

○幼稚園保育料等条例

賛成 自民、公明、民主連、政策、無所属
反対 共産、生ネ、社民、無党派、虹

賛成 多数

保育料の改定。

○学校施設使用条例

賛成 自民、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 共産、無党派

賛成 多数

プール使用料の改定と学校教育法の改正に伴う規定の整備。

○工事請負契約の締結 1件

仮称大蔵二丁目複合型子ども支援センター新築工事

賛成 自民、公明、民主連、共産、生ネ、政策、社民、虹、無所属
反対 無党派

賛成 多数

相手方 小保・小野建設共同企業体

契約金額 七億三千万円

工事概要 鉄筋コンクリート造地上4階建(保育室8、病児・病後児保育室、遊戯室、調理室、事務室3、医務室2など)

○財産の取得 1件

ノート型パーソナルコンピュータ (全員賛成)

相手方 日興通信株式会社

納入場所 区立中学校31校、教育センター、区役所
購入台数 700台
金額 五八六万三三〇〇円



自由民主党 世田谷区議団



小畑 敏雄 成城4-19-7 ☎3484-8848
川上 和彦 北鳥山6-18-17-303 ☎5384-5182
上島よしもり 駒沢1-2-7-C棟 ☎5433-5166
大場やすのぶ 上馬2-1-7 ☎5486-6800
石川 征男 祖師谷1-9-16 ☎3483-5111



鈴木 昌二 瀬田4-7-11-606 ☎3709-3422
菅沼 つとむ 桜新町1-14-18 ☎3428-2161
新川 勝二 上馬5-19-16-301 ☎3429-5650
下山 芳男 上馬4-2-5 ☎3418-2869
穴 りのお 松原3-29-18 ☎3323-7223



山内 彰 池尻4-29-18 ☎3411-1488
山口ひろひさ 等々力2-23-6-303 ☎3702-1819
畠山 普一 大原1-16-3-112 ☎3466-7005

新年明けましておめでとうございます。昨年の区議会議員選挙においては、皆様より多大なご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。厳しい選挙結果ではありませんが、我が党は、確固たる政治信念の下での議会活動に邁進し、世田谷の未来への舵取りを誤らないよう、区議会第1会派としての責任を果たしていく決意であります。区政は、私たちが支える熊本区長の2期目がスタートしています。区政改革を訴えてきた前期の4年間では、500名を超える職員定数の削減、約100億円の事務事業見直しなどを成し遂げ、その果実を安全安心など新たな施策に投入し、時代の要請にこたえてきました。景気も米国のサブプライム問題

- 高齢者・障害者施策(特養ホームの整備誘致、ショートステイ機能の充実、高齢者の住宅確保、福祉人材の確保など)
- 安全・安心(段差解消・点字ブ

など不透明感があり、引き続き、私たちが主張してきた「官から民へ」の視点からの行政改革を断行し、人口減少社会や少子・高齢社会への対応、地球温暖化など環境問題などへ全力で取り組めます。個別的政策課題としては、以下の課題に取り組めます。



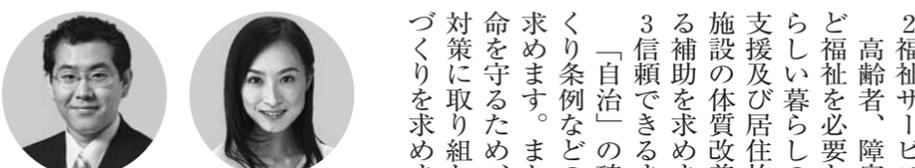
上杉 裕之 経堂1-12-4 峰ビル301 ☎5426-4641
稲垣まさよし 中町5-28-1 ☎5758-7400
あべ 力也 用賀2-41-15-101 ☎5491-8218



すがややすこ 粕谷4-16-7-503 ☎3305-5271
重政はるゆき 松原4-32-3 ☎3324-9638
風間 ゆたか 下馬4-5-9-203 ☎6914-9053



西村じゅんや 南鳥山5-11-17-205 ☎5313-0150
中村 公太郎 等々力8-21-3-206 ☎090-8050-2750
中塚 さちよ 船橋1-1-11 松本ビル3階 ☎3429-6078



藤井 まな 駒沢3-7-9-107 ☎3487-1267
ひうち 優子 代田6-6-22-102 ☎3466-3858

ロックの整備、街中への防犯カメラ・防犯カメラの設置、悪徳商法などへの消費者保護対策の充実、耐震助成の拡充など) ● まちづくり(開かずの踏切対策の推進、自転車・バイク駐車場の整備、災害要援護者への対策など) ● 子ども施策(保育枠の拡充、在宅子育て支援の充実、配慮を要する子どもへの支援体制の整備、認可保育園と認証保育所の格差是正など) ● 教育(少人数教育の推進、特別支援教育の体制整備、学校図書の実など)

私たちは自由民主党世田谷区議団は、皆様にもっと愛されるまち世田谷の実現を目指し、全力で取り組んでまいります。

昨年を振り返りますと、年金問題をはじめ、閣僚官僚の不祥事や首相の辞任など政府与党の様々な問題が連日マスコミを賑わせました。この腐敗した政治システムを一変する必要がある、このような皆様の想いが、7月の参議院議員選挙における民主党の大勝に繋がったものだと思っております。

この選挙結果をみても、区民の皆様は市場原理や土木を重視する政治から、我々が主張する、福祉中心とした区民生活重視への転換を求めていることは明らかです。我々は責任ある会派として、平成20年度の予算要望はまず予算の削減項目に言及しました。議会や行政のムダなコストをカットし、改革による歳出削減プランを提示

ものであり、会派一同心から御礼申し上げます。

1チルドレンファースト 安心して子どもを産み育てられるよう保育環境の充実を図り、魅力溢れる学校づくりを働きかけます。また、保育園・幼稚園や学校において、子どもたちがいきいきと学べるよう、魅力あるプログラムの導入や民間人材の活用を求めます。

2福祉サービスの充実 高齢者、障害者またその家族など福祉を必要とする人々の、自分らしい暮らしの実現のため、在宅支援及び居住施設の充実と、福祉施設の体質改善や自己負担に対する補助を求めます。

3信頼できるまちづくり 「自治」の確立にむけて、街づくり条例などの抜本的な見直しを求めます。また、区民の生活と生命を守るため、地域の防犯、災害対策に取り組むことができる体制づくりを求めます。



羽田 圭二 野毛3-14-1-306 ☎3702-3550
唐沢 としみ 奥沢4-27-4 ☎3727-2950

賀正 野放図な道路・高層開発を止め、緑豊かな低層中心の住環境を守ることを、区が即実行すべき地球温暖化防止策。下北沢・経堂・二子玉川等各地の高層不動産開発の見直しを求め今年も闘います。



木下 泰之 代田4-24-15-102 ☎5355-1283



無党派市民



第2回世田谷246ハーフマラソン

社会民主党 世田谷区議団

新年の幕開け、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。子どもから高齢者まで、すべて区民が元気に暮らすことのできる安定した医療・介護・年金等、社会保障制度の確立をめざします。今年さらには、区民の意見が、区政に反映できる住民参加の仕組みと、子どもがすくすく育つ男女が子育てしやすい環境づくりに向け、邁進いたします。

新年あけましておめでとうございます

公明党 世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、4月の区議会議員選挙、7月の参議院議員選挙におきまして、皆様より絶大なご支援を賜り深く感謝申し上げます。

先の参議院選挙では、不透明な「政治とカネ」や年金を初めとする社会保障についての問題など改革による影の部分が問われた選挙となりました。

わが党は、真に信頼できる政治と行政を再構築することが重要であると考えております。その意味から、時代に即した行財政改革が求められます。徹底した無駄遣いを廃し、大胆な統廃合や業務の民間委託・民営化を進めるとともに、広告事業などの新たな財源確保も必要であると考えます。

一方、子育てを地域や社会全体で支える（チャイルドフアースト社会）システムづくり、具体的には、子育ての精神的・経済的な負担軽減や保育サービスの拡充などに取り組みます。さらに、高齢者



岡本 のぶ子 桜丘4-11-15 ☎3427-0557
市川 康 等々力7-24-15 ☎3704-8095
板井 斎 玉堤1-16-28 ☎3704-8405
飯塚 和道 下馬5-7-6 ☎3410-2757



高久 則男 三宿2-14-7-304 ☎3422-0828
杉田 光信 北鳥山6-32-16 ☎3308-4033
佐藤 弘人 千歳台3-21-14 ☎3482-7732
栗林 のり子 成城9-31-20 ☎3483-8761



諸星 養一 弦巻1-28-18 ☎3426-7197
塚 敬二 梅丘3-4-12 ☎3420-0240
高橋 昭彦 赤堤2-30-12 ☎3327-0443

や障害者が優しさを実感できるセーフティネット社会の構築にも全力で取り組んでまいります。

行政課題においては、以下の諸課題に取り組めます。

- 安心安全のまちづくり（耐震対策の強化、交通安全の強化など）
- バリアフリーの充実（公共施設や道路のバリアフリーなど）
- 子ども・子育て支援（インフルエンザ予防接種助成の創設、妊産婦健診の無料化拡大、保育サービス待機児解消、認証保育所保護者補助など）
- 教育の環境整備（全小中学校の耐震化、いじめ・不登校対策、ほっとスクール拡充など）
- 高齢者施策（介護保険料減免措置の継続、ショートステイの拡充、ケアハウスの設置など）
- 障害者施策（就労支援の充実、グループホームの拡充など）
- 区民サービス向上（図書館の間延長、出張所土曜開庁など）

公明党には「大衆とともに」との立党精神があります。私どもは「一人の痛み、苦しみがわかる、皆様と同居できる」議員として、どこまでも庶民の側に立って行政に取り組みでまいります。

日本共産党 世田谷区議団

新年おめでとうございます。

増税・負担増に加え諸物価高騰でくらしは厳しさを増しています。格差と貧困を広げる自民党政治への国民の審判は参議院での与野党逆転をつくりだし、新しい政治への模索が始まっています。日本共産党は消費税増税反対、くらしを守り、平和憲法を守り頑張ります。



桜井 稔 三軒茶屋1-6-11 ☎5481-2928



武志 喜多見4-28-19 ☎3415-6244



中里 光夫 代田5-3-13 泰明荘 ☎3795-7091



吉ゆみ 粕谷3-26-16 ☎3309-3792

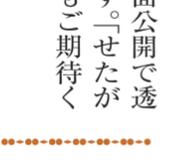


田義則 深沢4-7-12 ☎3702-3206

席へと前進しました。全ての小中学校が2009年度中に耐震化されるなど、取り組んでいます。住民税軽減の条例を提案しましたが実現せず、区議会として「低所得者に対する負担軽減等を求める決議」を可決しました。



中里 光夫 代田5-3-13 泰明荘 ☎3795-7091



田義則 深沢4-7-12 ☎3702-3206

謹賀新年 「せたがや政策会議」は区議会ただひとつの「政党に属さない市民派議員の交渉会派」です。一切のしがらみなく、あらゆるタブーに果敢に挑戦し、ある時は行政と戦い、ある時は協力しながら、一人ひとりの専門性をいかし奮闘しております。

生活者ネットワーク 世田谷区議団

あけましておめでとうございます。今年も誰もが地域で豊かに暮らせる世田谷のまちを目指し、毎日の生活を支える環境・福祉の整備や市民参画のまちづくりを進めます。区民が主役の世田谷を実現するため以下の重点項目に取り組みます。

- 環境都市せたがやの実現（廃プラスチックリサイクルの拡充、みず循環とみどりの保全）
- 子育て子育て支援（多様な保育の充実、子どもの人権保障、子どもの力を伸ばす教育の充実）
- 高齢者・障がい者福祉の充実（医療と介護を連携させた地域ケアシステムの構築、障がい者就業支援）
- 男女共同参画社会の推進（ワークライフバランスの推進、DV根絶、条例制定、単独所管設置）
- 市民参画の保障、議会改革



津絵 中町4-1-8 ☎3703-0451



井純子 上祖師谷5-20-5 ☎3326-9665



吉田 恵子 駒沢2-18-4-201 ☎5430-9699



山木きょう子 下馬1-29-6 ☎3420-0737



野菜の宝船(第37回世田谷区農業祭)



田中 優子 松原4-34-20-309 ☎3322-8131



小泉 たま子 宇奈根3-14-28 ☎3415-0305



大庭 正明 粕谷3-15-3 ☎3307-1179



知的障害者就労支援センター「すきっぷ」でのクリーニング作業の様子

レインボー世田谷

慶春 たった一人の議員でも条例を尽くした議論があれば、多くのことを変えられるのが実感です。少数派の声、周囲の無理解に苦しむ人たちの声を代弁します。合言葉は、ちいさな声、社会に届け！



上川 あや 宮坂2-8-2 ☎3439-3384

無所属

夢とロマン。お金では買えない大切なものです。今年はずみ年です。私はこまめに働いて子どもたち、高齢者、障害者など地域の誰もが夢とロマンを持って暮らせるよう、力を尽くしてまいります。



青空 こうじ 大原1-13-7 ☎3485-2726

問 質 表 代

自由民主党世田谷区議員

上島 よしもり議員

戦略的な財政運営

質問 都市部から地方への税源移譲の動向や高額納税者の退職による税収減など、区財政の先行きは予断を許さない。変化に柔軟に対応できる戦略的な財政運営を行え。
区長 区民サービスへの影響が最小限となるよう区政のかじをとる。
情報化戦略の推進

質問 情報通信技術を組織的かつ戦略的に活用し、全庁的な情報の流通や行政運営の合理化を進めるべきだ。現在より低コストで、安全な電子政府を目指せ。
地域政策部長 組織全体としての情報化の成果を重視して推進する。
学校施設の有効活用

質問 学校は最も身近な行政財産だ。児童生徒数が減った学校の統廃合を進め、廃校後の建物をコミュニティ施設とするなど、部署を超えて経営の観点から検討せよ。
政策経営部長 区全体の財産という観点で検討し、有効活用を図る。
将来を見据えた職員の人材育成

質問 区民サービスの質を担保する区政の経営基盤は職員だ。蓄積してきた知識や経験が次の世代にしっかりと継承されるよう、将来を見据えた職員の人材育成を行え。
副区長 区長下命のもと、新たな人材育成計画の策定を進めている。
産業ビジョンに対する見解

質問 区内産業は農業、工業、商業とも区民の暮らしにとって重要であり、課題はあるが大きな可能性も秘めている。産業ビジョンでは、どのような将来像を示すのか。
区長 それぞれの分野で、全国の都市をリードする取り組みを示す。
みどり33の達成に向けた取り組み

質問 みどり率33%の達成には、区全体の6割を占める民有地の緑化が重要だ。マンション建設での緑化基準の引き上げや環境空地への緑化誘導などを積極的に進めよ。

区長 区民や事業者の協力を得て、緑を守りふやす取り組みを行う。
福祉人材確保への取り組み

質問 介護職の人材不足は区内でも大きな問題だ。区民が安心して介護サービスを利用できるように最優先に考え、区は介護職の人材の確保など事業者の支援に努めよ。
保健福祉部長 人材の確保や育成に向け、さらなる支援を検討する。
住宅耐震化への支援策の拡充

質問 住宅耐震化への支援策をよりきめ細かく実施すべきだ。現在耐震改修助成の対象ではないツーバイフォー工法の住宅や共同住宅なども助成の対象に加えよ。
副区長 対象外の住宅も、20年度から補助対象とする。
減災の視点からの耐震化の促進

質問 住宅の耐震改修助成は家屋全体の耐震化が対象であるため、工事をためらう人もいる。簡易な耐震工事やリフォーム助成にも目を向け、減災重視の施策を進めよ。
危機管理室長 都市整備部と連携し、効果的な減災対策に取り組む。
建築紛争防止への支援策

質問 マンション建設に伴う建築紛争の防止に向け、住民と事業者との話し合いの場を区が仲介すべきだ。他区の例も参考に、円滑に協議するための支援策を検討せよ。
副区長 中高層建築物の紛争予防条例の改正も視野に入れ検討する。
開かずの踏切解消への体制強化

質問 京王線の開かずの踏切の半分以上は区内にあり解消が急務だ。早期に都の連立事業の対象区間となるよう、沿線のまちづくりを加速させる推進体制を強化せよ。
区長 区の推進体制をこれまで以上に充実させ、取り組んでいく。
校庭の夜間照明の増設

質問 区立校の校庭で、照明設備があり夜間に開放されているのは5校のみだ。身近な場所で気軽にスポーツが行えるよう、夜間照明の設置校を各地域2校にふやせ。
生涯学習部長 23年度までに、新たに5校の夜間開放に取り組む。

公明党世田谷区議員

市川 康憲議員

子どものインフルエンザの予防策

質問 インフルエンザによる学級閉鎖が全国で拡大しており、区も早急に対策を講ずるべきだ。安心して子育てできるように、子どもへの予防接種助成を実施せよ。
副区長 具体的に検討を進めており、今後区長の判断を仰ぐ。
妊婦健診の公費負担の拡大

質問 安心して出産するためには、健診による妊婦の健康管理が重要だ。区長は妊婦健診の公費負担拡大について検討を指示したと表明したが、その後の検討状況を。具体的に検討を進めているところだ。
保健所長 区長の指示を受け、具体的に検討を進めているところだ。
認証保育所利用者の負担軽減

質問 認証保育所の利用者の負担を軽減し認可保育園との負担の差をなくすことを、我が党は再三求めてきた。検討状況を。示せ。
子ども部長 認証保育所利用者の収入などを考慮し、検討している。
老老介護世帯への区独自の支援

質問 介護保険制度では、老老介護の状態であっても家族が介護しているという理由で、生活援助サービスが認められにくい。他区の例を踏まえ、区も支援策を講じよ。
保健福祉部長 より適切なサービス提供に努めるよう事業者を促す。
がん検診の受診率向上への対応策

質問 日本人の3人に1人はがんで死亡しているにもかかわらず、全国的にがん検診の受診率は低調だ。区民の受診率向上に向けて、区が具体的な対応策を講じよ。
保健所長 基本健診との同時受診を可能にするなど利便性を高める。
ほっとスクールの増設

質問 ほっとスクールは不登校の子どもたちの居場所として重要な存在だ。不登校の相談件数の増加を踏まえ、城山、尾山台に続く新たなほっとスクールの設置に取り組め。
教育改革部長 教育ビジョンの第

2期行動計画の中で検討する。
親亡き後対策への早急な取り組み

質問 知的障害者の約70%が親と同居しており、親の高齢化に伴う親亡き後への不安の声は切実だ。先送りできない重要な課題ととらえ、早急に具体的な対策を講じよ。
保健福祉部長 地域でのネットワークの構築など、施策を充実する。
アイドリングストップ装置の装着

質問 CO₂排出量の削減は地球温暖化防止に向けた喫緊の課題だ。一部のバスなどに導入されているアイドリングストップ装置を約300台あるすべての庁有車に取りつけよ。
環境対策室長 19年度中に庁有車40台に装着し、区民周知も行う。
飼い主のいない猫への施策の充実

質問 飼い主のいない猫にまつわる地域でのトラブルが絶えない。人と動物との共生の観点から、不幸な猫をふやさないための地域活動に対する施策を一層充実せよ。
保健所長 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費助成を検討中だ。

民主党・無所属連合 重政 はるゆき議員

歳出削減プランの見解
質問 我が会派は、20年度予算編成に当たり、改革によりコスト削減が可能な項目と金額を責任ある会派として区長に具体的に示したプランに対する見解を示せ。
副区長 次期行政経営改革計画の策定や予算編成の中で精査する。
予算編成での最重要項目の実現

質問 我々は最重要項目としてチルドレンファースト社会の実現、低負担高満足な福祉サービスの構築、信頼できるまちづくりを示した。区長はこれらの実現を図れ。
区長 既に安全安心などの項目に留意し予算案の編成を進めている。
決算の早期公表

質問 区は民間企業に比べて、決算公表までにかかる期間が長すぎると。決算に対し区民に疑念を持たれないよう、区長は経営者の視点

から早期の公表に取り組め。
政策経営部長 自治法に基づき進めるが、改善できる点は検討する。
入札制度の早急な改革

質問 他自治体では談合事件が相次いでおり、入札制度の改革が急務だ。予定価格の事前公表や区独自の格付の廃止など、透明性が高い入札制度を早急に構築せよ。
財務部長 独自格付の廃止方針を決定するなど、改革を進めている。望ましくない勤労観、職業観

質問 教育ビジョン第2期行動計画の素案には、望ましい勤労観、職業観との文言がある。それでは、区が考える望ましくない勤労観、職業観とはどのようなものか。
教育改革部長 働くことに意義を見出せないことなど考える。
高齢者、障害者施設の充実

質問 区長は2期目の選挙公約で、1期目に示した高齢者、障害者施設の充実を掲げなかった。公約は達成されたということか。
保健福祉部長 選挙のマニフェストでも掲げ、重要施策としてしている。
高齢者安心コールの機能拡大

質問 高齢者の困り事の相談を受ける高齢者安心コールの利用促進を図るには、事業内容の充実が必要だ。需要が高いと見込まれる医療相談機能を付加せよ。
保健福祉部長 相談員は介護職などであり医療相談の対応は困難だ。
二子玉川再開発に伴う水害リスク

質問 二子玉川再開発地域周辺には、大雨による浸水被害が予想される場所が多い。再開発に伴う地盤のかさ上げで、周辺地域の水害リスクが高まる危険性はないのか。
危機管理室長 再開発で周辺地域の水害リスクが高まることはない。
産業表彰制度の普及

質問 区内には2万5000の事業所があり22万人が働いているが、19年度の区の産業表彰への応募者は、団体が8団体、個人が158名だった。周知方法を工夫し制度を普及せよ。
産業政策部長 関係部署や産業団体と連携し、広く周知に努める。

日本共産党世田谷区議員

里吉 ゆみ議員

貧困の広がりに対する認識

質問 給与所得者の23%が年収20万円以下。貯蓄もなく、病気がきっかけとなり生活破綻する人がふえている。区は、こうした貧困の広がりをどう認識しているのか。
副区長 政策経営部長 区民福祉の向上は、常に区政の基本目標だ。
後期高齢者医療制度の保険料

質問 後期高齢者医療制度では、低所得の高齢者の負担が一層ふえる。低所得者の保険料が国保加入時より高くなり、高所得者は低くなることに対する区の見解を示せ。
保健福祉部長 算定方式が異なるため、一概には比較できない。
青年勤労者への支援

質問 非正規雇用の若者は勤務先の互助組織に入らず、生活資金の支援などが受けられない場合が多い。区内中小企業向け福利厚生機関のセラ・サービスで対応せよ。
産業政策部長 勤労者個人が利用できるような見直しを進めている。
青年勤労者のセーフティネット

質問 働く若者の5割は不安定雇用であり、年収20万以下が4割を占める。区は、生活に苦しむ若者に対する生活資金の貸し付けなど、セーフティネットを構築せよ。
産業政策部長 NPOなどと情報交換しながら研究していきたい。
区民健診の周知

質問 長時間労働などの影響から健康不安を訴える若者がふえている。会社などで健康診断を受ける機会のない若者でも受診できる区民健診を一層周知せよ。
保健所長 産業政策部と連携し、さまざまな機会にPRする。
多重債務者の救済策の充実

質問 多重債務者の増加が予想され、セーフティネットの構築は喫緊の課題だ。相談窓口の充実や生活再建資金の貸付制度の創設など、万全の対策を講じよ。

代表質問、一般質問の様子はホームページでごらんいただけます。
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/
議会中継をクリック!

11月28日及び29日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

（4ページからの続き）

副区長 多重債務に悩む区民が安心して相談できる環境を整備する。
低所得者に対する住民税の減免
質問 ふえ続ける低所得層への対策が急務だ。区の判断で地方税法の市町村民税減免の規定を活用して、住民税の減免対象を拡大せよ。
財務部長 納税が困難な区民に対しては、今後も個別に対応する。
少人数学級の実現

質問 少人数学級を採用した自治体では、不登校問題や学力面で効果が評価されており、足立区では少人数学級実現に向け都と協議を始めた。世田谷区でも、取り組みのため、国や都の動向を注視する。
廃プラスチックのリサイクル計画
質問 ペットボトルと発泡トレイ以外のリサイクル計画がないまま廃プラスチックを焼却することは、到底区民の理解を得られない。早急に計画を策定せよ。
清掃・リサイクル部長 資源化ルートが確保できておらず、策定は困難だ。



自転車走行環境の社会実験路線 (明葉通り)

本文中で使用している省略表記
地域政策部長 地域情報政策担当部長
環境対策室長 環境総合対策室長
保健所長 世田谷保健所長
みどりとみず部長 政策担当部長
みどり担当部長 政策担当部長
生涯学習部長 生涯学習・地域・学校連携担当部長

生活者ネットワーク世田谷区議員 竹村 津絵議員

自治基本条例の制定
質問 少子高齢化が進む中、今後の地域社会を支えていくには、行政への市民参画が一層重要だ。区民との協働のあり方を明確に示すため、自治基本条例を制定せよ。
政策経営部長 議会での幅広い議論を踏まえ、引き続き検討したい。
まちづくりでの区民参画の保障
質問 まちを大きく変える都市計画や大規模開発計画などの策定に際しても、区民参画を保障すべきだ。区民と事業者との事前協議の義務化など、新たな制度をつくれ。
副区長 区民参加のあり方などを幅広い視点から検討している。

温暖化防止に向けた新たな手法
質問 CO₂の排出量を大幅に削減するための実効性ある取り組みが必要だ。区が実施する事業の環境保全効果を目に見えぬ形で評価検証できる環境会計の手法を導入せよ。
環境対策室長 区の環境施策の成果を表示できる手法を検討する。
循環型社会の実現に向けた連携
質問 循環型社会の構築には、広い視野と長期的展望が必要だ。大都市の実態を踏まえた廃プラスチックの資源化ルートの確立に向け、他区や都と一丸となって取り組み、区長 今後も、循環型社会の形成に向けて努力していく。

高齢者、障害者福祉の充実
質問 国の制度変更で高齢者や障害者への支援が後退しても、区の福祉水準は低下させてはならない。世田谷型の福祉をどう進めるのか。
保健福祉部長 既存の施策の拡充を図り、新たな施策も展開する。
ワークライフバランスの実現
質問 仕事と生活の調和を目指す取り組みを区内産業から進めるべきだ。産業ビジョンには「ワークライフバランス」を明確に示せ。
産業政策部長 産業ビジョンで新しい働き方などを提言したい。

**せたがや政策会議
田中 優子議員**
みどり33を実現できる計画の策定
質問 策定中の「みどり」とみずの基本計画」のペースでは目標としている2032年のみどり率33%の達成は困難だ。過去の失敗に学び、示した期限に間に合う計画に改めよ。
副区長 計画を着実に実施し、成果を踏まえて、目標達成を目指す。
みどり33の達成に必要な費用
質問 みどり率33%の実現は、緑と水面を合わせて約432haふやすことを意味する。そのために必要となる公園や道路の整備費用を示せ。
みどり部長 10カ年の計画から推計すると、約300〜400億円かかる。
街づくり条例の改正
質問 区は施策の決定過程で住民参加を取り入れてはいるが統一的なルールがない。街づくり条例の改正で根拠を明らかにし、わかりやすい住民参加のルールを定めよ。
副区長 一歩進んだ条例を目指し、住民参加の手法などを検討したい。
庁舎問題における住民参加の実施
質問 区役所は区民のための施設であり、庁舎のあり方は区民とともに考えるべきだ。庁舎問題の検討に住民参加の手法を取り入れよ。
副区長 区民の意見を聞くことが不可欠だと認識している。

牛乳一辺倒の学校給食の見直し
質問 学校給食の献立が何であっても栄養補給の名目で牛乳を出すことは食文化を破壊する。学校給食法改正の動きや他自治体の創意工夫の例を踏まえ、見直しを図れ。
教育次長 日本の食文化のよさも取り入れる必要があると考える。
図書館業務の民間委託の推進
質問 民間委託を導入した経堂図書館では、夜間の開館などが大変好評だ。他の図書館でも民間委託を進めて開館時間や休館日を見直し、区民の利便性の向上を図れ。
生涯学習部長 開館時間などの改善の必要性は認識している。

桜井 純子議員 (生ネ)
ワークライフバランスの取り組み
質問 国の男女共同参画会議は、個人生活を大切にできる社会が必要と指摘している。区は仕事や生活などの調和（ワークライフバランス）にどう取り組み考えか示せ。
答弁 関連部署が連携して、具体的な取り組みを始めたところだ。
ワークライフバランスの実現
質問 ワークライフバランスの実現には、企業や労働者一人ひとりの理解と実践が必要だ。区民や企業の協力で幅広い取り組みとなるよう、産業界との連携を重視せよ。
答弁 企業などと連携して研究し、実践への支援についても検討する。
民間と連携した不登校対策
質問 学校だけが学びの場だといふ狭い価値観にとらわれない不登校対策が必要だ。柔軟な発想で民間との協働による学びの場をつくり、子どもの学習権を保障せよ。
答弁 民間団体との連携も視野に、きめ細かい支援の充実に努める。

山口 ひろひで議員 (自民)
いじめに対する学校の対応
質問 最近の教員は雑務に追われて子どもへの目配りが十分できないと聞く。いじめの芽を摘むことが大切な中で子どもの変化をいち早く察知する取り組みを示せ。
答弁 教育相談活動の支援体制を整え、いじめ対策を充実している。
家庭教育の充実に向けた取り組み
質問 学校や教員に対して理不尽な要求をする保護者がふえ、親の意識啓発の必要性が増している。家庭教育の充実に向け、親として必要な道徳を学ぶ機会を設けよ。
答弁 学校や関係団体と連携し、家庭教育への支援を一層推進する。
多摩川河川敷への進入路の整備
質問 区内の多摩川河川敷への進入路には、整備状況が悪く通行に危険な箇所がある。河川敷が災害時の避難場所になることを踏まえ、階段やスロープなどの整備を急げ。
答弁 関係各課が連携し、国に対してさらに改善を働きかけていく。

一般質問

11月29日及び30日の本会議では、29名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

あべ 力也議員 (民主連)

福祉作業所自主生産品の販路拡大
質問 障害者サービスの利用者負担が増す中、福祉作業所の工賃の増額につながる方策が必要だ。インターネットの活用などにより、自主生産品の販路拡大に取り組み。
答弁 自主生産品カタログの内容を区のホームページで公開予定だ。
高次脳機能障害者への支援
質問 高次脳機能障害者への地域の支援体制の充実が必要だ。都の新事業の内容も踏まえ、総合福祉センターを中心に実施している相談事業や支援事業を一層充実せよ。
答弁 医療機関との連携などにより、支援体制の整備に努めている。
医療費通知の改善
質問 区は国民健康保険の被保険者に対し年間2カ月分に限って医療費の額を通知しているが、適切な情報提供の観点からは不十分だ。年間の総額がわかる方法に改めよ。
答弁 実施手法の見直しなど、より実効性を高める方策を検討中だ。

すがや やすこ議員 (民主連)
保育サービスの対象年齢の拡大
質問 病児・病後児保育や一時保育は、就学前までの子どもが対象だが、就学後の保育ニーズも高い。働きながら子育てをする家庭を支えるため、対象年齢を拡大せよ。
答弁 まずは現在の対象者の需要を満たす施設の整備を進めている。
学童保育の充実
質問 区が実施する小学生対象の保育サービスは、新BOP内学童クラブしかない。社会福祉協議会のふれあい保育を活用するなど、さまざまな手法で充実せよ。
答弁 新BOP運営全般の検証結果をもとに、充実や改善を図る。
苦情処理の第三者機関の設置
質問 苦情処理の対応は各部署に任されているが、区と区民の間にトラブルが生じた場合の対応組織も必要だ。区民が苦情の申し立てをできる第三者機関を設置せよ。
答弁 第三者委員会の設置については、今後の研究課題とする。

山木 きょう子議員 (生ネ)
学校での環境教育
質問 区は循環型社会に逆行する廃プラスチック焼却を決定したが、教育に及ぼす影響を懸念する。将来を担う子どもには、広く社会に通じる知識を身につけさせよ。
答弁 主体的に行動する力を育てていく環境教育の充実に取り組む。
社会科の副読本の改訂
質問 ごみの収集区分の変更に伴い区は副読本を作成する。子どもには一時的な区独自の施策を伝えるのではなく、プラスチックは従来どおり資源であると明記せよ。
答弁 引き続きリサイクルの大切さなどを学べるよう十分配慮する。
成年後見制度の充実
質問 高齢になっても安心して暮らすためには、成年後見制度の普及が不可欠だ。区が育成した区民後見人を有効活用できるように環境を整備し、高まる需要にこたえよ。
答弁 気軽に利用できるよう、引き続き制度の充実に努める。

桜井 純子議員 (生ネ)
ワークライフバランスの取り組み
質問 国の男女共同参画会議は、個人生活を大切にできる社会が必要と指摘している。区は仕事や生活などの調和（ワークライフバランス）にどう取り組み考えか示せ。
答弁 関連部署が連携して、具体的な取り組みを始めたところだ。
ワークライフバランスの実現
質問 ワークライフバランスの実現には、企業や労働者一人ひとりの理解と実践が必要だ。区民や企業の協力で幅広い取り組みとなるよう、産業界との連携を重視せよ。
答弁 企業などと連携して研究し、実践への支援についても検討する。
民間と連携した不登校対策
質問 学校だけが学びの場だといふ狭い価値観にとらわれない不登校対策が必要だ。柔軟な発想で民間との協働による学びの場をつくり、子どもの学習権を保障せよ。
答弁 民間団体との連携も視野に、きめ細かい支援の充実に努める。

山口 ひろひで議員 (自民)
いじめに対する学校の対応
質問 最近の教員は雑務に追われて子どもへの目配りが十分できないと聞く。いじめの芽を摘むことが大切な中で子どもの変化をいち早く察知する取り組みを示せ。
答弁 教育相談活動の支援体制を整え、いじめ対策を充実している。
家庭教育の充実に向けた取り組み
質問 学校や教員に対して理不尽な要求をする保護者がふえ、親の意識啓発の必要性が増している。家庭教育の充実に向け、親として必要な道徳を学ぶ機会を設けよ。
答弁 学校や関係団体と連携し、家庭教育への支援を一層推進する。
多摩川河川敷への進入路の整備
質問 区内の多摩川河川敷への進入路には、整備状況が悪く通行に危険な箇所がある。河川敷が災害時の避難場所になることを踏まえ、階段やスロープなどの整備を急げ。
答弁 関係各課が連携し、国に対してさらに改善を働きかけていく。

あべ 力也議員 (民主連)
福祉作業所自主生産品の販路拡大
質問 障害者サービスの利用者負担が増す中、福祉作業所の工賃の増額につながる方策が必要だ。インターネットの活用などにより、自主生産品の販路拡大に取り組み。
答弁 自主生産品カタログの内容を区のホームページで公開予定だ。
高次脳機能障害者への支援
質問 高次脳機能障害者への地域の支援体制の充実が必要だ。都の新事業の内容も踏まえ、総合福祉センターを中心に実施している相談事業や支援事業を一層充実せよ。
答弁 医療機関との連携などにより、支援体制の整備に努めている。
医療費通知の改善
質問 区は国民健康保険の被保険者に対し年間2カ月分に限って医療費の額を通知しているが、適切な情報提供の観点からは不十分だ。年間の総額がわかる方法に改めよ。
答弁 実施手法の見直しなど、より実効性を高める方策を検討中だ。

山木 きょう子議員 (生ネ)
学校での環境教育
質問 区は循環型社会に逆行する廃プラスチック焼却を決定したが、教育に及ぼす影響を懸念する。将来を担う子どもには、広く社会に通じる知識を身につけさせよ。
答弁 主体的に行動する力を育てていく環境教育の充実に取り組む。
社会科の副読本の改訂
質問 ごみの収集区分の変更に伴い区は副読本を作成する。子どもには一時的な区独自の施策を伝えるのではなく、プラスチックは従来どおり資源であると明記せよ。
答弁 引き続きリサイクルの大切さなどを学べるよう十分配慮する。
成年後見制度の充実
質問 高齢になっても安心して暮らすためには、成年後見制度の普及が不可欠だ。区が育成した区民後見人を有効活用できるように環境を整備し、高まる需要にこたえよ。
答弁 気軽に利用できるよう、引き続き制度の充実に努める。

西村 じゅんや議員(民主連)

菅沼 つとむ議員(自 民)

中塚 さちよ議員(民主連)

中村 公太郎議員(民主連)

唐沢 としみ議員(社 民)

木下 泰之議員(無党派)

保存樹木の管理の支援

質問 私有地内の保存樹木の管理では、落ち葉の処理が所有者や周辺住民の大きな負担となっている。区が行う剪定では、落ち葉が少なくなるよう剪定方法を工夫せよ。

AEDの適切な管理

質問 AEDをいつでも使用可能な状態にしておくためには、定期的なメンテナンスが必要だ。区は、設置するAED本体や附属品の交換時期を把握し、適切に管理せよ。

子どもへのAEDの使用

質問 心室細動は子どもにも起こる可能性があると言われており、子どもへのAEDの使用も想定すべきだ。区が設置するAEDに子ども用の電極パッドを備えつけよ。

世田谷城址の保存

質問 豪徳寺2丁目の世田谷城址は、城跡の範囲が未確定なために保存に支障が出ている。国や都、地元保存会などと範囲確定について協議し、保存体制を整えよ。

産業技術研究センターの跡地利用

質問 深沢2丁目の都立産業技術研究センターが移転する予定だ。移転後の跡地を隣接する駒沢公園に編入し、公園や駐車場として整備するよう都へ要請せよ。

区立校のプールの耐震調査

質問 災害時には避難所となる区立校では、校舎以外の施設の耐震化も進めるべきだ。学習環境の整備と災害時の水確保の両方の観点から、プールの耐震調査も行え。

千歳船橋駅周辺のまちづくり

質問 千歳船橋駅周辺の整備では、住民意見の反映の方法や今後の進め方が見えない。まちづくりについて事前に区と地域住民が双方向から協議する場を設けよ。

児童虐待の予防のための情報提供

質問 児童虐待の一因とも言われる若年での予期せぬ妊娠から生じる不安の解消に取り組むべきだ。若者に身近なコンビニなどで出産や子育てに関する情報を提供せよ。

中小企業での子育て支援の促進

質問 区が始めた中小企業子育て両立促進補助金制度を活用する企業が少ない。制度の周知や助成要件の緩和などにより活用を促進し、子育てしやすいまちを目指せ。

子育て支援マンシヨン認証制度

質問 18年度に創設した子育て支援マンシヨン認証制度は、子育て支援の方策として期待されたが、初年度の申請はなかった。制度の改善などを進め認証数をふやせ。

子育て環境の整備促進

質問 高層マンション内への保育室などの整備を求める声は大きい。二子玉川再開発に伴う大型マンション建設を好機ととらえ、子育て支援マンシヨン認証取得を促せ。

チャイルドシートの購入援助

質問 チャイルドシートの装着率が伸び悩む原因の一つは、シートが高額なことにある。子どもの命を守るための重要な施策として、シートの購入援助を実施せよ。

施設使用料の値上げへの配慮

質問 施設使用料の値上げでは、コストだけでなく、区施設がまちづくりに果たしている役割も重視すべきだ。区施設を使った区民活動が後退しないよう配慮せよ。

出張所の相談、情報機能の充実

質問 まちづくり出張所の相談機能や情報提供機能の充実には、区民の声を直接聞いて反映することが必要だ。区は、機能の充実をどのような方向で進めるのか。

区民の力を生かした福祉の推進

質問 区は超高齢社会の到来を認識して、これからの福祉施策を展開すべきだ。将来にわたってだれもが安心して暮らせるよう、区民の力を生かして施策を推進せよ。

小田急線の下北沢跡地利用問題

質問 前回、区は下北沢地区の小田急線地下化後の跡地で公共が使えるのは在来線部分のみと答えた。再度聞くが、制度上、複々線部分も含めての利用可能面積2万7000㎡を公共利用することは可能か否か。

経堂駅東地区地区計画の再考

質問 経堂駅東地区の地区計画策定での都市計画法第16条の手続で、高度地区として再整備されることを懸念する意見書が多数寄せられた。拙速に進めず手続をやり直せ。

京王線連立事業の促進

質問 都が実施予定の京王線の連立調査は代田橋・八幡山駅間だが、鉄道地下化の調布地区と笹塚駅間を一体とした調査に改めさせよ。

桜井 稔議員(共 産)

三軒茶屋駅周辺への駐輪場設置

質問 三軒茶屋駅周辺には駐輪場が7カ所整備されたが、放置自転車が多い三軒茶屋1丁目側には1カ所もない。駐車場の一部を借りるなどの方法で駐輪場を設置せよ。

太子堂4丁目の防災まちづくり

質問 太子堂4丁目地区では、主要生活道路17号線の道路拡幅計画ではなく、地域住民の求める防災まちづくりを優先すべきだ。計画を白紙に戻すことも含めて見直せ。

区内での孤独死の実態

質問 高齢者の孤独死をなくすためには、ひとり暮らし高齢者の安否確認が重要だが、区の取り組みは不十分だ。各総合支所で把握している孤独死の件数を示せ。

問

質

一

岡本 のぶ子議員(公明)

区役所窓口のプライバシー確保

質問 区役所窓口のプライバシー確保は、窓口に、庁舎の狭隘化により相談内容などが隣のブースに聞こえてしまう状況だ。区民のプライバシー保護のため、早急に改善せよ。

答弁 相談ブースの個室化を視野に入れ、積極的に取り組む。

防災訓練用非常食の原材料の表示

質問 区が防災訓練の際に配布している非常食には原材料名の表示がなく、アレルギー疾患のある区民は不安を感じている。備蓄食料と同様に、原材料名を表示せよ。

答弁 表示の徹底を図るほか、訓練参加者への必要な説明に努める。若者への就労支援

質問 年々ニートが増加し、区でも、顕在化する前に対策が必要だ。世田谷版の地域サポートステーションの設置など、若者の働く意欲を引き出す具体的な対策を講じよ。

答弁 働くことを通じて自立するための支援を積極的に進める。

小畑 敏雄議員(自民)

マナー条例の制定

質問 公共交通機関内での迷惑行為や、ルールを無視した自転車の無謀な運転など、他人の迷惑を顧みない行為が横行している。日常生活の中で他人に迷惑をかけるという基本的マナーの遵守をうたった条例を制定し、世田谷のイメージアップにつなげよ。

答弁 区民の安全、快適な生活を確保するため、関係各課と連携し、他自治体の例も踏まえ研究したい。

学校でのマナー教育の実践

質問 核家族化が進む中でマナーを教える家庭の機能が失われ、学校にその機能を果たすことが期待されている。教師が子どもに毅然とした態度で接することで、マナーの基本である目上の人や師を敬う気持ちを育てるなど、区立校でマナーを教える機会を設けよ。

答弁 授業研修会を実施して道徳教育の充実を図っており、マナーにも触れるよう指導を工夫する。

羽田 圭二議員(社民)

学校給食の民間委託の評価検証

質問 学校給食の民間委託では、献立数の充実などが評価される一方で、人材不足による調理業務の質の低下が懸念されている。委託先の現状を十分に評価検証せよ。

答弁 今後も適正な委託管理に努め、給食の質の向上に取り組む。

二子玉川再開発地域周辺への配慮

質問 二子玉川再開発は、区内ではかつてない大規模開発であり、その影響は広範囲に及ぶ。工事車両が通る通学路の安全確保や駅利用者への周知にも十分に配慮せよ。

答弁 住民の理解を得て工事を進めるよう、再開発組合を指導する。地域医療体制の強化

在宅介護の負担の重さや訪問治療体制の不十分さなどから、医療機関で亡くなる人が多い。希望すれば在宅医療を選択できるように、地域医療体制を強化せよ。

答弁 医療連携推進協議会の提言を受け、順次取り組みを進める。

藤井 まな議員(民主連)

昭和期の遺跡の保全

質問 遺跡は、建物などとともに、その活用の記録が一緒になって初めて価値を持つ。昭和期の遺跡を後世に残すため、早急に当時の話や記憶の聞き取り調査を実施せよ。

答弁 昭和の文化が残るよう、当時の近代建築などの調査を行う。

文化財保護に関する区長の考え

質問 区の文化財保護の取り組みは、身近な歴史的財産を区民とともに守っていくという視点で進めるべきだ。失われつつある昭和の文化財に対する区長の認識を示せ。

答弁 身近な文化を区民とともに守っていききたい。ペットボトル回収拠点の拡大

ペットボトルの回収率の向上には、回収場所の利便性を高めることが重要だ。回収拠点をペットボトル販売店の店頭に限定せず、身近な集積所や出張所に拡大せよ。

答弁 分別区分変更モデル地区での試行状況などを踏まえ検討する。

下山 芳男議員(自民)

地域支えあい活動への支援

質問 社会福祉協議会が行う地域支えあい活動は、地域力を高める大切な役割を担っている。区は、拠点の確保など、地域での活動が一層活発になるよう支援に努めよ。

答弁 活動専用拠点の整備や、場の確保などの支援を進めている。

エイトライナー構想の実現

質問 エイトライナー構想が実現すれば、都心に向かっていた人の流れが変わり、隣接区などを含めた経済発展が見込める。実現に向け、区は熱意を持って取り組め。

答弁 都や関係区と連携し、構想の実現に前向きに取り組む。住民基本台帳カードの利用拡大

区の住民基本台帳カードは、用途がほぼ証明書の交付に限られているため普及が進まない。商店街のポイントカードを兼ねるなど、新たな機能を加え利用拡大を図れ。

答弁 カードの独自利用について、先進事例などの調査研究を続ける。

杉田 光信議員(公明)

千歳烏山駅周辺のまちづくり

質問 公社烏山住宅の建てかえやマンションの建設などにより、今後、千歳烏山駅の利用者の増加が予想される。駅周辺の活性化を視野に入れたまちづくりを進めよ。

答弁 地域住民と協力しながら、活力あるまちの実現を目指す。危険なガードレールの改善

質問 狭い歩道のガードレールの中には、服やリュックサックのひもが挟まりやすい形状のものがあり危険だ。事故が起きる前に総点検し、早急に対策を講じよ。

答弁 挟み込み防止策のスピードアップを図り、早期に完了させる。安全安心な歩道づくり

ブロックで舗装された歩道には細かい段差があり、障害者や高齢者には危険だ。特に人が多く集まる駅前商店街では、安全性を確保するための対策を講じよ。

答弁 商店街の意見を聞きだれもが歩きやすい道路づくりに努める。

